

校長室だより

杉並区立向陽中学校
6月号 平成29年6月30日発行
校長 菅野 武彦

「人間賛歌が響き渡る学校づくり」を目指して

【今年度のキーワード】 継続

「建設的な和～みんなの向陽中学校～」

◇ 目指す生徒像『自立的に活動できる生徒』の育成を掲げて =その2=

〈 選択肢示し 決断任せて 「思春期にどう向き合う Part2」(朝日新聞 2014.2) より〉
前号に引き続き、新聞記事の一部抜粋で紹介しします。内容は「思春期の子育て」についてです。

子どもが傷つかないように、先回りして上手に導きたい。そんな思いが強すぎると、かえって自立を遅らせることもある。思春期の子どもの接し方は。/ 思春期は自分作り期。危なっかしくて不安定な時期だが、様々な経験をして、自分という人間をつくっていく。親もそれまでの接し方を変え、見守る必要がある。例えば授業の内容から友達関係まで、事細かに質問するのは控えよう。秘密を持つのは大人になりつつある兆候。自分から話すならいいが、詮索するのはやめた方がいい。/ 話しかけても何も言わなくなることも。そんな時は「お母さん、明日は〇〇の予定だから」とちょっとしたことで話しかけ、「気にかけているよ」とサインを伝える。子どもは何かあった時に話しやすくなる。/ 叱り方にも工夫を。頭ごなしに叱っても聞かないが、優しく「だめでしょ」と言っても叱ったことにはならない。目を見て、言い聞かせるようにゆっくりと具体的に、何が悪かったのかを伝える。反抗的な態度にカッとになって言い争ってしまったら？ 親が一度その場所を離れて別の場所に行く。一歩引いて冷静になってから、戻って話し合う。同じ土俵には乗らず、穏やかに話し合おう。/ 子どもに向き合う時の心構えは。まず一人の人間として尊重する姿勢が必要。一方的に親の意見を押しつけないという安心感があれば、自然に口を開く。ただ独走はさせない方がいい。子どもは人生経験が乏しく、判断材料が少ないからだ。意見をしっかり聞いて一緒に考え、選択肢を示し、子どもに選ばせる方法を勧める。/ 親に反抗しない子どもの場合、親子の話し合いを通じて「思春期の迷い」を意図的につくり出すのも一つの方法だ。意見が食い違った時、それぞれがよいと考える方向性のメリット、デメリットを話し合い、深く考える機会を作る。親は遠慮せずに考えを話す。ただ進路など子どもの人生にとって大切なことは、最終決定を子に任せたい。/ 親の期待を「裏切るまい」と考えて、反抗できない子もいる。子どもは親の期待に応えたいと思うもの。抑圧していないかを振り返り、「ありのままのあなたを応援しているよ」というメッセージを伝えると、子どもはほっとするものだ。(太字と下線は菅野による)

前回は「生徒が大人に依存しない姿こそが『自立』であり、学校は生徒一人一人が自立的に活動できるようにすることを目指します。そこで、学校が目指す『生徒の自立』を家庭でも支援し

てください」と呼びかけました。今回は学習、特に「家庭学習」について考えたいと思います。

学校では5教科の「家庭学習の手引き」を基に指導を継続的に行っています。家庭学習なしに生徒の学力を高めることは難しいからです。ところが、「家庭学習の手引き」はある意味教員に依存した学習であり、「自立」的とはいいがたいです。学校が目指す「自立的な学習者」の育成に矛盾を感じるかもしれません。これについてはつぎのように考えてください。「家庭学習の手引き」は、生徒が自ら家庭学習に取り組むためのマニュアルと考え、自ら学習に取り組むきっかけにします。学年が上がるにつれて、次第に「家庭学習の手引き」への依存度が低くなり、3年生ともなれば、マニュアルなしで取り組めるようになることを目指したいのです。

保護者であれば誰もが我が子に「勉強してほしい」と思うものです。つい口癖のように「勉強しなさい」と言ってしまうかもしれませんね。ある本に参考となることが書いてありましたので紹介します。“…「勉強してほしい」という願いは伝えたいでしょうし、その必要もあると思います。大切なのは、願いを伝えるタイミングです。子どもが学校や塾から帰ってきて、疲れてソファに寝転がっているときに、「勉強しなさい」というメッセージを出しても反発されるだけでしょう。ゲームなど好きなことに熱中しているときも同じです。一番いいタイミングは、お子さんが気持ちよく話してくれているときです。一緒に食事をしているときなどが考えられます。もし週末などに外出する機会があれば、子どもと話をするチャンスになるでしょう。大切なメッセージは、できるだけゆっくりした時間の中で伝えるのがいいと思います。(中略) 会話の中では、お子さんから出てきたものを大切にすることが一番です。無理に親の考えを押し付けるのではなく、焦らず自然な流れを大切にします。その中で、ここまで述べてきたような社会の変化や、将来求められている力などに触れられるといいでしょう。こうなってほしいという親の願いも語りましょう。大切なのは否定形や命令形を使わないことです。(中略) そして、「うまくいくように一緒に考えよう」と応援する姿勢を伝えます。この「一緒に考えよう」という姿勢は、子どもにも生徒にも安心感を与える言葉だと思えます。…”(なぜ「教えない授業」が学力をのばすのか 山本嵩雄著 日経BP社より)

◇ 『人間賛歌が響き渡る向陽中学校』にしたい! =その1=

〈“人として生きることの素晴らしさ”を実感させたい〉

6月の全校朝礼でつぎのような話をしました。向陽中には君たちの先輩が作った「いじめ0%五ヶ条」(全校生徒に示して)があります。私はこの五ヶ条の存在を知ったとき、向陽中生ってなんて素敵なんだろうと思いました。もう一つ、ここに「人間賛歌」(全校生徒に示して)という言葉があります。これはどういう意味か分かりますか。文字通り、「人間をほめたたえること」ですが、私は「人として生きることは素晴らしいことなんだ!」というふうに捉えています。そして、向陽中生に「人として生きる素晴らしさ」を伝え、かつ実感してほしいと、常日頃言っています。

では、ここで今朝の話し合い(4人組)の課題です。「いじめ0%五ヶ条」と「人間賛歌」はどのような関係にあると思いますか。こ

『向陽中学校いじめ0%五ヶ条』
一 ありがとうを言おう!
二 助け合おう!
三 ほめよう、ほめられよう!
四 挨拶をしよう!
五 気遣いを大切にしよう!

れが正解というものはありませんので、自分はこう思うという考えを発表し、また他の人の考えも聞きましょう。では3分間で話し合ってください。

向陽中生が作った「いじめ0%五ヶ条」。私はこの五ヶ条が学校全体に広がることを願っています。その訳は、もしこの五ヶ条が生徒の間に定着すれば、学校が和やかで温かな雰囲気になれるようになると思うからです。五ヶ条を読んで気づくことは、5つとも“他人とかかわる上での心得である”ということ。つまり、向陽中生はこうした生徒同士のかかわりを大切にするので、いじめのない学校にしようと考えたのです。私が五ヶ条を知り、“向陽中生ってなんて素敵なんだろう”と思ったのは、直感的にこれは「人間賛歌」に通じるものがあると感じたからです。学校が和やかで温かな雰囲気のなか、生徒が学習活動に前向きに取り組んだり、学校行事等で力を合わせて達成感を味わったり、一方で、苦労を体験したり挫折したりと、いわゆる“喜怒哀楽”をいっぱい味わってほしいのです。そして、困難を乗り越える力を身に付けてほしいのです。

〈“いじめのない向陽中学校”をつくる〉

またしても“いじめによる自殺”報道がありました。新潟県で中学2年の男子生徒が自殺しました。家族に「クラス全員に仲間はずれにされている。俺はいじめられていると思う」などと話していたということです。4月に学校が全校生徒に実施したアンケートでは、男子生徒へのいじめに関する記述はなく、担任も異変に気づけなかったとのこと。今後の調査報告を見守りたいと思いますが、私は校長として、向陽中学校でこうした事態を絶対に起こしてはならないとの強い気持ちで学校経営を行ってまいります。

さて、本校では今年度も“いじめのない学校をつくる”ことを「指導の重点」に掲げています。残念ながら、昨年度はいじめをゼロにすることはできませんでした。ただ、教員が把握できていたこと、深刻ないじめではなかったこと、継続的に観察・指導を行ったことなど、想定していた範囲内のいじめでした。今年度も特に学年差、心の成長やいじめに対する意識の差に応じて、「いじめをしない、させない、許さない」学校づくりを行います。

先日、新聞で“若者の命 守るために”という見出しの記事を読みました。特に若者の自殺の深刻な状況が続き、“低い肯定感、生きる希望失う”という小見出しで、「…日本の若者は、どんな環境に生きているのでしょうか。端的に言うと、自己肯定感が低く、日本社会に対する期待も失っている人が少なくない」と書いてありました。向陽中生を見ていて、確かに自己肯定感の低い生徒がいることは確かです。私はいじめをなくす視点からも、何とかして生徒一人一人に自尊感情を育てたいと思います。そのためにもしっかりと自分に向き合わせることに力を注ぎます。この取組はとりもなおさず、上述した「人間賛歌の教育」に他なりません。保護者の皆様方、人生の先輩として我が子に「人として生きる素晴らしさと厳しさ」を折に触れてお話しください。



「運動会」で気合いを入れる3年生



フレンドシップスクールでの1年生の一コマ
私が一番感心した「一輪挿し体験」

〈ボランティア活動を通して“ボランティアマインド”を身に付けさせたい その1〉

向陽中生は“学校内で”活躍する姿を見せてくれますが、“学校外”となると、なかなか気持ちが向かないようです。そこで、今年度は「自分で地域のボランティア活動に参加する。自分で見つける」ことにしました。特にこの夏休みは絶好の機会です。基本自分で探すことから始めましょう。他から与えられることを待つのではなく、自ら動きましょう。そう、「自立」です。保護者の皆様にも背中を押してほしいところですが、ここは我が子の行動を見守ってください。学校運営協議会の委員さんより、下記の「子ども食堂」のボランティア活動の紹介がありました。自分で見つけるか、それともこれにするかを含め自ら判断してください。



「町ぐるみ運動会」でボランティア活動をする向陽中生（昨年11月3日）

8月2日(水) 子ども食堂 in みょうほうじ(妙法寺) 工作の手伝い等のボランティアに参加しよう！

- 場所：妙法寺（杉並区堀ノ内3-48-8） □時間：12:00～15:00
- 主催：妙法寺子ども食堂実行委員会 ・ 一般社団法人 東京キワニスクラブ
- ボランティアの内容：工作体験の手伝いや食事の配膳等
- 申込み：事前申込みです ※詳しくは菅野まで

◇ 向陽中生の学びを支えてくれる『cafe 勉』と『KOYO スタディ』に感謝！

〈地域での学習会『cafe 勉』の始まりは？〉

昨年、「放課後、地域で生徒の勉強を見てくれる機会があると助かる生徒がいるのですが…」というお話を学校運営協議会委員さんにしたところ、秋ごろに『cafe 勉』のスタートとなりました。定期考査前の数日間、ゆうゆう永福館2階の多目的室は勉強を頑張る生徒でにぎわっています。大学生や地域の方々が勉強を教えてください。休憩時間のお菓子を目当てに来ている生徒もいるようです。回を重ねるたびに、定員20名を越える日が増えています。

〈保護者が見守る『KOYO スタディ』〉

こちらは保護者の有志が集う「向陽中土曜日学校委員会」が主催する『KOYO スタディ』。長年続いている学習会です。定期考査前の土・日曜日と夏休み最後の土・日曜日の午前中に開催しています。『cafe 勉』同様、大学生や地域の方々が生徒の勉強を見てくれます。生徒の学習機会と学習教材を提供してくれる保護者の皆様、ありがとうございます。期末考査前は50名近くの生徒が頑張りました。



ゆうゆう永福館「cafe 勉」の様子
定期考査前4日間 17:00～20:00



「KOYO スタディ」の様子
定期考査前の土・日曜 9:00～12:00